



国際ロータリー第 2500 地区第 3 分区 2014-2015

旭川モーニングロータリークラブ会報

第 1023 回例会 Vol.22 No.28 2015.2.12 (木) 点鐘 PM 6 : 30

Morning Rotary Club

会長：小柳裕子 幹事：嵯城俊明



2月《世界理解月間》 例会プログラム=3クラブ合同例会

於：ロワジールホテル旭川 3F ボールルーム II

(2月5日 1022 回例会の記録)

開会宣言 妹尾 副SAA

只今から、第 1022 回例会を開催致します
小柳会長、点鐘をお願いします！



会長挨拶 小柳 会長



皆様おはようございます
昨日は立春、暦では冬が終わり春ですが、
昨日今日と春は程遠い厳しい冷え込みと成りました。
皆さん節分に豆まきはされましたか？ 春の訪れを喜び、そして邪気を払い
福を呼ぶために豆をまきますが、皆さんは落花生派ですか？大豆派ですか？
東北・北海道では圧倒的に落花生が多い様です。それと豆まきの大豆は炒り
豆でなければダメなのですね。なぜなら、生の豆を使って拾い忘れたものか
ら芽（魔の目）が出てしまうと、縁起が悪いとされているからです。

因みに節分の行事を寺院で大規模に行ったのは浅草の浅草寺が最初だそうです。 我が家では近くに
セブンイレブンが出来てから恵方巻きも頂く様になりました。

今年の恵方は庚（かのえ）＝西南西です。 家族の健康と幸せを願い黙々と頂きました。

会長挨拶と致します。ありがとうございました。

会務報告 嵯城 幹事

- 1) 一般社団法人ロータリーの友事務所より、2015-2016 年度「ロータリー手帳」
申込書 收受。 一部 648 円（本体 600 円・消費税 48 円／送料別）
5月下旬出来上がり予定 ご希望の方は、別紙にお名前をご記入ください。
- 2) 旭川市内 6 ロータリークラブより、会報 1 月分收受。
- 3) 国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所より、日韓台対抗戦「第 16 回
ロータリー国際囲碁大会」案内状 收受。
日 時 5月16日(土) 9時開会式 18時 表彰式・懇親会
会 場 東京・市ヶ谷の日本棋院 2階大ホール 登録料 17,000 円



委員会報告 小柳会長より《お知らせ》

今月 3 日に、友重例会運営委員長が腰痛治療のため入院
されましたが、無事手術も終わり一週間程で退院される見通
しになりましたのでお知らせします。

誕生祝記念品贈呈 小柳 会長

飯塚達夫会員 5日
お誕生日おめでとうございます！！



ニコニコBOX

福居 親睦委員長（本日はありません）

※ 2月5日現在 累計 297,690円

メイクアップ

2月3日 石川千賀男会員・木村和哉会員・小野寺康充会員（旭川西RC）

出席報告

小野寺 例会運営委員

第1022回(2月5日)例会	第1020回(1月22日)例会
総員 28名	総員 28名
出席 19名	修正出席 26名
出席率 67.86%	修正出席率 92.86%

**理事会議事録**

嵯城 幹事

- 3月5日 識字率向上 大久保委員発表 3月12日 佐々木会員のイニシエーションスピーチ
 3月19日 夜間例会 オリエンテーション 担当 石川委員長
 3年以内の会員は出席が義務 案内のご芳名を記載して出席を促す
 財団・米山についての理解を促し寄付に理解を得る、釧路地区大会でのDVDなどを上映
 3月26日 アクトとの合同例会は朝例会とする（中西アクト会長に20分間スピーチ）

委員会スピーチ

竹澤 国際奉仕委員長（内容が豊富な為、会報終わりの掲載としました。）

＝世界理解月間にあたって＝

《ロータリーにおける世界理解と平和の探究》

ロータリーは友愛の心で結ばれた4人の会合に始まりましたが、3年後にはサービスの概念が導入され、今では世界166カ国の地域に広がり、クラブ数31,000以上、会員総数およそ120万人という大きな奉仕組織に発展しました。

1921年、スコットランドのエジンバラ国際大会において、「ロータリーの綱領」の中に「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」という「第4項」が組入れられ、その後世界中のロータリアンは色々なプログラムで世界平和への視野を広め、平和への情熱を声高く表明してきました。しかしながら、1945年以来、120を超える深刻な武力紛争が世界各地の国を荒廃させ、2500万人以上の人々が犠牲になっています。そして、今日に至るまで、中東を中心に民族や宗教上の対立、貧困や差別、抑圧への反抗などによる紛争やテロの種は尽きません。国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられています。

**1) 平和への担い手を育てるロータリー世界平和奨学金プログラム**

国際ロータリーでは、2002年に始まる国際問題の研究を目的としたロータリーセンターを世界の7カ国に開設することにしました。このロータリーセンターは著名な大学と協力関係を結ぶことによって、平和・紛争をはじめ世界理解の分野における最先端の研究を行い、これに多くの団体をリンクさせて紛争を解決するよう努め、平和に満ちた環境をもたらすことを目指すという大きな目標を掲げています。

このロータリーセンターで研究に従事する「ロータリー世界平和奨学生」は、普通の国際親善奨学生と異なり、紛争解決の要点や、平和研究を含んだ修士課程の2学業年度、研究に従事することになりますが、これまでの実績をあげますと次のようになります。

海外のジャーナリズムによって「小さな巨人」と称された国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は、この世界平和奨学生の先駆者ですが、このような人を一人でも多く育て、世界に向かって送り出すことが、今、最も大切なことではないでしょうか。

2) 平和と開発に関する会長主催会議の開催

この会議は、2002年8月9～11日、当時のラタクル RI 会長によって、マレーシアのクアラルンプールで開催され、約 1,400 人のロータリアンと来賓が 27 カ国から参加し、平和への専心を強める会合となりました。この会議で、ラタクル国際ロータリー会長は次のように述べました。

- ・ RI は草の根レベルで平和へのプロセスを進めるという大きな役割を果たすことができ、国際関係分野の質の高い奨学生を訓練することができるという信念をもっています。
- ・ この会議に多数の出席者がいるということは、それぞれのロータリアンが平和を強く希望している証であると思っています。
- ・ 世界中で紛争を防止する積極的な役割を果たすことに取り組んでいます。それは今、この場から、そして、私たち一人ひとりから始まります。

又、この会議で紛争解決に関する講演者の 1 人、タイの元外務大臣：スリン・ピッサワン博士は新設のロータリー世界平和奨学金プログラムを称賛し、「世界は、紛争解決の専門家をもっと必要としています。そして、ロータリーのような非政府団体が、袖を捲くもっと実践活動に関与する必要があります」と言っています。今後とも、このような会議が引き続き開催されることを切望する次第です。



ポール・ハリスは「ロータリーは平和な世界のミニチュアである」と言っていますが、ロータリアンは勿論のこと、ロータリアン以外の人々もロータリーについてよく知って頂くことが世界平和につながり、平和のメーカーになり得ると思ふ次第であります。

竹澤委員長談：3月3日～9日の水浄化装置完成式典参加のタイコク訪問も、世界平和への貢献の一巻であると確信する次第です。

ロータリー財団・米山委員会の河崎委員長には、このような大きな機会を与えて頂き、参加者は勿論、会員になり替わり深く御礼を申し上げます。

《例会前の朝 7 時過ぎ、水蒸気も凍てつくほどの「零下 21℃」の朝景色》 ロワジールホテル 15F から

